

NEWS RELEASE

報道関係者 各位

グループ社員への社長交代ご挨拶**<就任挨拶(富田社長)>**

私は、2016 年 2 月 25 日の取締役会決議を受けまして、創立 120 年目にあたる本年に社長に就任いたしました。責任の重大さを考えますと身の引き締まる思いです。

前期において、中期経営計画で掲げた目標を達成することができました。目標に向けて邁進してこられた社員の皆さんに感謝申し上げます。そして、我々を強いリーダーシップで導いて頂いた佐藤前社長には深甚なる感謝を申し上げます。

私が入社したころから経済環境は大きく変わりました。

当社グループも事業内容を入れ替え、収益基盤や財務基盤を再構築してまいりました。結果、世間からは「負けない企業」として評価を受けるようになったと感じております。当社グループの次なるステップは「負けない企業」から「魅力的な事業を創造する企業」へ「変化・成長」することだと考えています。



本日は、私が今後の経営にあたり、現在重要と考えていることを述べたいと思います。

まず1つ目は、世間の流れに好奇心をもって先を予見するということです。

溢れる情報の中から適確な情報を選び、それを基に将来を予測することが収益を左右します。その予測に基づき、「誰も踏み出さない、見つけられなかった未開の分野」を創出してこそ利益の源泉があります。漠然と目の前のことをこなしていくのではなく、常に好奇心を持って先を読むということを心がけてください。

2つ目は、全事業部がグローバル戦略をたてることです。

現在はグローバル競争を避けて通れません。特に人口の増加が大きく伸びている新興国・アジアの成長は魅力的です。グローバルな視点で物事をとらえ、当社の強みを武器に海外展開をはかってください。「グローバル人財の育成」においても主に実践の場で展開し、自ら「考え」「行動に示し」「変革」していくチャレンジ精神を持った人財をどんどん海外で登用していきます。

3つ目は、ニッケグループが発展するための主役は、グループ会社の「社長」であるということです。

それぞれのグループ会社は皆、違う市場に向き合っています。各社長は、その市場で「VOC」を武器に、大いに事業を企て、果敢に「チャレンジ」をしてください。そして、会社を発展させ、共に働く従業員を幸福にしてください。「チャレンジ」が今後のグループの発展を生み、次の 10 年を創っていくと考えています。

4つ目は、企業としての社会的責任を果たすこととコンプライアンスの徹底です。

これは会社の理念や日々の一人一人の心がけによって磨かれるもので、すぐに醸成されるものではありません。ニッケグループの社員であるということを忘れず「愚直さ」と「規律」をもって行動してください。

最後になりましたが、私は、社長として経営を行っていくにあたり、誰よりも当社グループのことを考え、全力を尽くします。そして、いいグループになるため、皆さんにも厳しい現実に向き合い、多くのチャレンジを求めます。みなさんもう一度、R N130 ビジョンで描いた 10 年後の当社グループにおいて、こうありたいと望む「自分」や「自分の事業・仕事のありよう」と現在の状況との間の距離を見つめてください。私を含めて各自がその距離を認識し、「チャレンジ」して埋めていけば、必ずビジョンで目指す、やさしくあったかい、しなやかで、生命力にあふれる魅力的な「みらい創造企業グループ」になれると確信しています。

ニッケグループ代表
ニッケ 取締役社長 富田 一弥

NEWS RELEASE

<退任挨拶(佐藤会長)>

この度、2016 年 2 月 25 日付をもって代表取締役社長を退任し、富田新社長にバトンを渡すことに致しました。

私が社長に就任したのは、2009 年 12 月 1 日です。約 6 年間に渡って、社長として本職を全うできましたのも、取引先や株主、グループ社員の皆様のご協力とご支援の賜物です。退任にあたり、心から御礼申し上げます。有難うございました。

社長退任にあたり、あらためて思いますことは、ニッケは、これからも、さまざまな変化や苦難を乗り越えて、創業の精神を忘れず、RN130 にも掲げた「未開の分野に目を向け、挑戦し続けて欲しい」ということです。

ニッケは、今年の 12 月 3 日に創業 120 周年を迎えます。我々はこれを誇りにし、また何としても守っていかねばなりません。但し、これは、創業当時から、幾多の先輩たちが築き上げてきた、技術への探究心や、お客様との信頼関係の上に成り立つものだということを忘れてはなりません。私が降井前社長からバトンを受けた年はリーマンショックの翌年で、業績も減収減益となったときでした。しかし、これを乗り越えて、安定した収益基盤をつくることができたのも、120 年間に渡って、繋ぎ続けてきた技術や顧客基盤、企業風土があったからこそです。



これからも厳しい時代になるかもしれません。少子高齢化や地方の衰退、グローバル競争、モノ消費からコト消費。また、リーマンショックのような世界的な経済危機が、いつどんなかたちで起こるかわかりません。世界が一つに繋がりと、社会や経済の仕組みが複雑になればなる程、先のことを予測することが、ますます難しくなります。

自ら、「考え」「行動に示し」「変革」しなければ、衰退していきます。

経営理念の“情熱と誇りをもってチャレンジして行く”を胸にバトンを繋いでいってくれる次世代の人達に期待しております。今後は、少し後方から見守り、支援していきます。富田新社長を盛り立て、支えて下さい。

ありがとうございました。皆さんの未来に期待しています。

ニッケ 取締役会長 佐藤 光由

《本件に関する問い合わせ先》

ニッケ 経営企画室
室長 岡本 雄博
Tel : 06-6205-6610